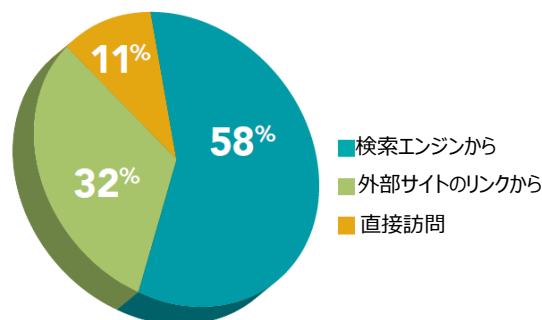


自分の論文が読者の目に留まる機会を増やすことは、研究のインパクトを高めるうえで非常に重要です。

Wileyのジャーナルを収載する電子プラットフォームWiley Online Libraryは、世界で最も多くのアクセスを集める科学系ウェブサイトのひとつですが、GoogleやGoogle Scholarなど検索エンジン経由のアクセスが全体の58%を占めています。そのためWileyは、Wiley Online Libraryの収載論文がGoogleなどで確実に上位にヒットするよう、SEO（検索エンジン最適化）戦略を積極的に実行しています。

一方、論文の著者の側でも、SEOに配慮したちょっとした工夫によって、自分の論文へのアクセスを増やし、論文が長期にわたって読まれ、また引用される可能性を高められることをご存知でしょうか。そのためのポイントを以下にご紹介します。

Wiley Online Libraryへの訪問者の内訳



### 自分の論文を検索上位にヒットさせるSEOのコツ

#### 1. SEOに配慮した表題を付ける

論文の表題は、内容を具体的に表現し、またその主題に関するキーワードを含むことが必須です。キーワードは、表題の冒頭65文字以内に配置しましょう。

#### 2. Abstract（抄録）にキーワードをうまく配置する

- 論文に関するキーワードおよびキーフレーズを適切に選びましょう。その論文を検索する場合に他の研究者が使いそうな単語を、2～4個ほど考えてみて下さい。
- 人気のある検索ワードは、[Google Trends](#)や[Google Adwords キーワードツール](#)で単語を検索してみると分かります。
- Abstractの中で、キーワードやキーフレーズを3・4回繰り返しましょう。ただし、不自然な言い回しにならないよう、文脈に沿った形で使って下さい。
- キーワードの過度な反復は、検索エンジンからの除外を招く危険があるので十分注意しましょう。

#### 3. キーワードは少なくとも5つ設定する

キーワード欄には、abstract中で繰り返したのと同じキーワードやフレーズを入れましょう。それら以外にも妥当なキーワードや、キーワードの同義語・類義語があれば追加しましょう。キーワードはSEOのためだけでなく、抄録・索引データベースでのタグ付けに使われるという意味でも重要です。

#### 4. 著者名の表記に一貫性を持たせる

著者名は、イニシャルを含めて同じ表記を論文中で一貫して使い、また過去の論文で使った表記と同じものを使うようにしましょう。

#### 5. 見出しを活用する

論文中の各セクションに見出しを付けると、論文の構成と内容についての手がかりを検索エンジンに与えることができます。見出しには、キーワードやキーフレーズを適切な範囲で盛り込むようにしましょう。

#### 6. 自分や共著者の過去の論文を引用する

適切な範囲で自分や共著者の過去の論文を引用すると、過去論文の被引用回数が新しい論文のページランクに反映し、検索順位のアップにつながる可能性があります。

## SEOに成功したabstractの例 – ここが注目ポイント

表題に主要なキーワードが含まれている

### Ocean Acidification and Its Potential Effects on Marine Ecosystems

#### Keywords

ocean acidification, climate change; carbonate saturation state; seawater chemistry; marine ecosystems; anthropogenic CO<sub>2</sub>

検索ワードに使われやすいキーワードが設定されている

#### Abstract

Ocean acidification is rapidly changing the carbonate system of the world oceans. Past mass extinction events have been linked to ocean acidification, and the current rate of change in seawater chemistry is unprecedented. Evidence suggests that these changes will have significant consequences for marine taxa, particularly those that build skeletons, shells, and tests of biogenic calcium carbonate. Potential changes in species distributions and abundances could propagate through multiple trophic levels of marine food webs, though research into the long-term ecosystem impacts of ocean acidification is in its infancy. This review attempts to provide a general synthesis of known and/or hypothesized biological and ecosystem responses to increasing ocean acidification. Marine taxa covered in this review include tropical reef-building corals, cold-water corals, crustose coralline algae, *Halimeda*, benthic mollusks, echinoderms, coccolithophores, foraminifera, pteropods, seagrasses, jellyfishes, and fishes. The risk of irreversible ecosystem changes due to ocean acidification should enlighten the ongoing CO<sub>2</sub> emissions debate and make it clear that the human dependence on fossil fuels must end quickly. Political will and significant large-scale investment in clean-energy technologies are essential if we are to avoid the most damaging effects of human-induced climate change, including ocean acidification.

Abstract全体を通して、キーワードが文脈に沿って自然に、繰り返し盛り込まれている

Wiley Online Libraryの **Author Services** ページでは、さらに詳しいSEOのコツや具体例をご紹介します。

<http://authorservices.wiley.com/bauthor/seo.asp>

## 掲載された論文を読者に知ってもらうために、ネットやSNSを活用しましょう

論文が無事に採択されてジャーナルに掲載された後も、ちょっとした努力によって、潜在的な読者の目に留まる機会を増やすことができます。最善の方法は、身近な研究者ネットワークを通じて、少しでも多くの人に論文の存在を知ってもらうことです。また外部サイトから論文へのリンクが増えると、検索エンジンで論文のページランクが上昇し、検索結果で上位にヒットするようになることが期待できます。

自分の論文についての情報を潜在的な読者と共有するための代表的なツールとして、次のようなものがあります。状況に応じて、適切なものをお選び下さい。

- LinkedIn
- Facebook
- Twitter
- 自分が投稿できるブログやウェブサイト
- 所属機関のリポジトリ
- Mendeley
- ResearchGate
- 研究室のウェブサイト
- 所属機関のホームページ